

PHILA NIPPON '11 にて 「金賞」を頂いて

大沼幸雄

FIP世界展のフィラニッポンでは、90点ギリギリで、初めて金賞を頂き、一息入れたところです。2004年にジャペックスで金賞を頂いてから7年目です。この間、急ピッチで登り坂を駆け上がってきたので、いささかくたびれたというのが実感です。子供に「金賞だ」と自慢したところ「それオリンピックと同じ?」というので「いや、金賞は7名いる」と言ったら「ふーん」という感じ。さらに「大金賞というのもあるんだ」ということで、「金賞」の格が、みるみる落ちてきました。ここは「自分をほめてやろう」という名言があったことを思いなぐさめています。

そこでフィラニッポンでは、次のような作戦で 臨むことにしました。 1) リーフ・サイズを A 4(A3併用)から国際サイズに変更すること、 2) 希 少品を重点投入すること。とりわけ審査員ならだ れの目にも明らかな希少品を用いる 3) 切手比 率を下げてさらなる多様化を図る、の3点です。

実際には、

- 1) については、国際サイズは、A4に較べると縦は短く横は長く、面積は約7%増。したがいマテリアルの配置をかなり変える必要が生じ、またテキストの長さも調整せねばならず、かなりの日時を要しました。しかし、フレームに並べるとリーフ間の空間がなくなり見栄えが良くなった気がしま
- 2) これは、細かいものは、無視して、多少値は 張るが、一目でそれと分かる希少品を重点投入し ました。テーマティクの審査では、正直言って、 何が希少であるかをどの程度理解してもらえるか

疑問もあります。したがい一目で希少品と分かる ものを用いるのがベストと判断したからです。

3)原画、電報なども用いたので今回の切手比率 (点数における切手の比率)は、44%となりました。これも純正の切手の比率で、無目打、エラー、カラートライアルなどは切手と数えない前提です。この結果、切手の使用面積が減り、切手数が、非常に少なくなった印象です。

その他、悩ましいこととして、テーマとの直接 的関係の深さと、マテリアルの古さ(古いものが 希少とは一概には言えませんが、一般に、入手難 度は上がる)は、得てして反比例の関係にありま す。そのときいずれを優先するかが問題です。小 生は、経験にてらして希少を優先しました。ま た、実逓便は、やはり「自然度」というか、郵趣 家向けに作ったものより実際に自然な形で送達さ れたものがベターです。現実には、テーマティク でそれを求めるのは至難の業なので、実逓であれ ば、多少、自然度に問題があっても、使いたくな ります。今回、審査員に尋ねた結果では、実逓便 であり適正料金であれば、特に、問題にしないと いう感じでした。もちろん自然度が高いに越した ことはないのでしょうが・・・。さらに悩ましか ったのは、適正マテリアルとは何かという基本問 題です。これも何回か不適なマテリアルを高値掴 みしてきたので、今後、よく勉強しなければと思

そのようなことで今回の受賞は、到達点ではな

くとで層つでのよ願すま的をた、い、のむすごろぃ。でな付。通うま研つ。指しいごにリけ過こた鑽も皆導くし参代-ま点とーをり様をおま考表フし

(2011年 8月29日 記)

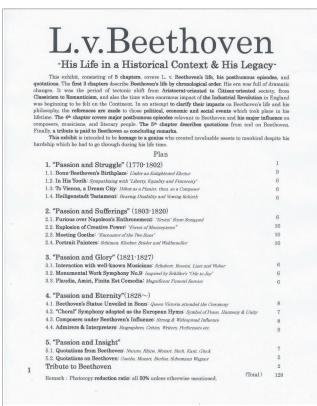


パルマレスにて

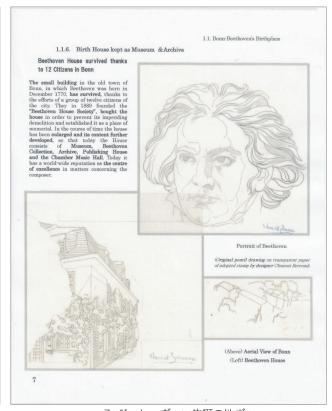
ベートーヴェンーその生涯と遺産(8フレーム)

JAPEX'04で金賞を頂いて以来、7年間、ひたすらこのテーマを追いかけて来ました。その間、海外で12回出展(いずれも作品持参)して、その都度、厳しい講評を頂き、それを糧に、

「カイゼン」に「カイゼン」を重ねてここに辿り着きました。 どこまで行ってもこれで「満点」ということはなく、これがこ の趣味の醍醐味かも知れません。



1 タイトル・ページ: 「ベートーヴェンーその生涯と遺産」(5章)



7 ベートーヴェン生誕の地ボン: 肖像と生誕の家(透明プラスティク上の鉛筆原画)







53 クライン制作のライフ・マスク(実逓便、エラー、発行案内)



59 クレーバー画ベートーヴェン肖像画 (初カバー、無目打、プルーフ)



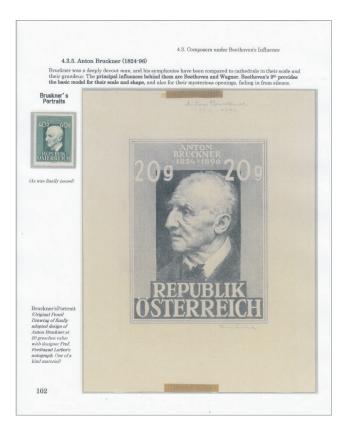
62 シモン画ベートーヴェン肖像画 (ステーショナリー試刷、普通切手の郵趣研究)

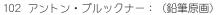


70 ミサソレムニスの完成: 讃美歌を歌う修道女たち (電報のデザイン)



87 板東における「第九」初演: (所内切手、エンゲルの手紙他)







120 カントとクロップシュトク: (切手帳ペーン、エラー、IAA加刷実逓便)



122 イタリア旅行のゲーテ: (私的官製葉書と実逓便)



126 ワグナー楽劇より: (切手帳、カタパルト実逓便)